

## 令和初の〈テニスを楽しむ会〉報告

宮澤 憲一（10組）

5月12日（日）、爽やかな天候の下、埼玉県蕨にて恒例の春の〈テニスを楽しむ会〉が開催された。昨年10月の軽井沢開催で、会の目標であったく古希まで本会を継続する〉は一応達成されたが、筆者を含む早生まれメンバーも入れて、今回で完全達成になった。参加者は、関賢治君（2組、幹事）・佐藤徹郎君（7）・原田義則君（3）・布施修一郎君（6）・若柳直人君（4）・筆者に加え、関君・若柳君の共通の地元テニス仲間である三浦氏（同年齢の助っ人）の7名。他の常連の皆さんは体調不良等々で残念ながら不参加。参加者もほとんどが身体のどこかに不具合を抱え、決して五体満足ではないが奮って集合した。特に原田君は、数日前に左膝靭帯を損傷したにも拘わらず、サポーターをしての参加。その前向きな気力に敬意を表する。

プレイは、すべての参加者とペアを組んでのダブルスを8試合（4ゲーム先取）実施。テニスをする方には判ると思うが、我等の年齢でこの試合数をほぼ休みなしで消化するのは、なかなか大変である。しかし全員頑張って無事終了。火花を散らす戦いではないが、真剣にボールを追う姿勢は古希の大会とは思えない。親善大会であり勝敗は二の次であるが、恒例により成績優秀者を記すと、同率（6勝2敗）で次の3名が並ぶ。若柳君・筆者そして助っ人の三浦氏。手負いの原田君も2勝をあげた。プレイ後は市内の銭湯で汗を流す。いまどき街中に昔風の銭湯があるとなぜかホッとする。プレイと銭湯で喉が渴いた後は、お待ちかねの会食。近隣の上原昇君（2）・成澤文和君（4）も駆けつけてくれて、駅前の海鮮居酒屋で喉を潤し、美味しい魚料理を楽しむ。話題は、なぜかテニスのことはほとんど無く、郷土のこと・歴史のこと・同期の情報などで盛り上がり、飲み放題の3時間もあっという間に過ぎてしまう。

次の目標は〈喜寿まで？〉〈いや無理だから後期高齢者の75まで？〉と意見はいろいろあるが、少しでも長くテニスを楽しみたいのは全員の思い。

次回は布施会長の肝いりで、熱海初島で10月開催となる予定。

関さん、今回幹事ご苦労様でした。（19年5月14日記）

【写真1】コートに集合（左から原田、若柳、佐藤、三浦、宮澤、布施、関）



【写真2】プレイ後の懇親会にて

